

罪を犯した人の 社会復帰

総合生存学 ミニワークショップ
2017. 7. 11. (火)
18:15 - 20:00

何が課題か？

【講演概要】

犯罪者の社会復帰は司法、福祉、医療といった

多領域にまたがる問題であるとともに、

それらの隙間の問題でもあります。

同時に彼らの反社会性が支援の枠を内側から壊すこともあります。

社会復帰支援の活動を通して見える、

犯罪者の包摂の課題について考えて見たいと思います。

京都大学東一条館 1階会議室 (112・113)

対象—どなたでもご参加いただけます 事前申し込み制、当日飛び入り参加も歓迎)

定員—50名

使用言語—主に日本語

ソーシャルインクルージョン研究会

問い合わせ◇social.inclusion.gsa.is@gmail.com

PROGRAM

18:15 - 19:30

講演+質疑応答

登壇者：工藤晋平
グローバル生存学大学院連携ユニット (GSS) 特定准教授

19:30 - 20:00

議論

「京大内で刑務所からの復帰者をどのように支援できるか。」
ファシリテータ：大野沙織
総合生存学館 (思修館) 大学院1年生

申し込み

件名を「7月11日のワークショップ参加」とし、以下の必要事項を明記のうえ、メールにてお申し込みください。

<必要事項>

- ・氏名
- ・所属

<申し込み先>

social.inclusion.gsa.is@gmail.com



京都大学 大学院 総合生存学館
思修館